

下水道管路管理に関する新技術の提案募集

- 異分野からの提案も歓迎します -

社団法人日本下水道管路管理業協会

1 目的

管路管理業務を適正かつ効率的、安全に実施するためには、積極的に技術開発を推進し、効果的な新技術を普及していく必要があります。本会としても、管路管理に関する有効な新技術を発掘し普及することにより、管路管理技術の向上に努めることとしております。

現在、管路管理に関する新技術は、様々な企業で開発が進められております。これを有効なものとするためには、現実の管路管理の場面において、その適用性や有益性を検証し改善していくことが必要です。さらに、現場での適用性等について十分に検討されたものでも、広く現実に使われていくためには第三者による評価も不可欠です。これらを通して、新技術が現場に普及し、管路管理業務の改善に寄与することとなります。

このため、当会としては新技術の発掘を行うとともに、これを普及する「管路管理に関する新技術支援事業」を実施し、管路管理の効率化を図り、これにより広く公共の福祉の向上に資することとしております。今回はその1つのプロセスとして、下水道管路管理に関する新技術の提案を募集するものです。

2 対象技術

管路管理業務において、省力化、効率化、安全性の向上等に役立つソフト及びハード技術全般を対象とします。

3 事業の概要

提案された技術は、先ず一次審査として、本会技術委員会において管路管理業務において省力化、効率化、安全性の向上等に役立つと期待される技術を選定します。さらに、必要に応じこれを実際の現場において検証するため、会員によるモニター施工を行い、その結果を技術委員会に報告します。技術委員会ではこの報告を審査し、効果があると評価されたものを「新技術支援事業」の支援技術として認定します。認定された技術については、本会の有する媒体や研修を通じて、本会会員や広く一般に普及を図って参ります。

さらに、新技術に認定されたものについては、モニター施工に際しての報告書作成に対して、金銭的な支援も行います。

4 募集時期

新技術の提案は随時受け付けています

申し込みにかかる費用はありません。

5 提出書類

別添『提案申込書等記入要領』により、以下の書類を提出してください。

5-1 提案申込書

- (1) 代表者名
- (2) 担当者名
- (3) 共同提案者の有無
- (4) 提案技術の名称
- (5) 提案技術の分野
- (6) 提案技術の概要

5-2 提案書 書式自由

- (1) 技術の詳細
- (2) 従来技術及び類似技術との差異（技術、コスト、効率、効果等）
- (3) 実用化の程度
- (4) 団体名、担当部署及び担当者

5-3 提案者の概要（会社概要等） 書式自由

6 募集に関する問合せ先及び書類の提出先

（社）日本下水道管路管理業協会 担当：篠田・米川

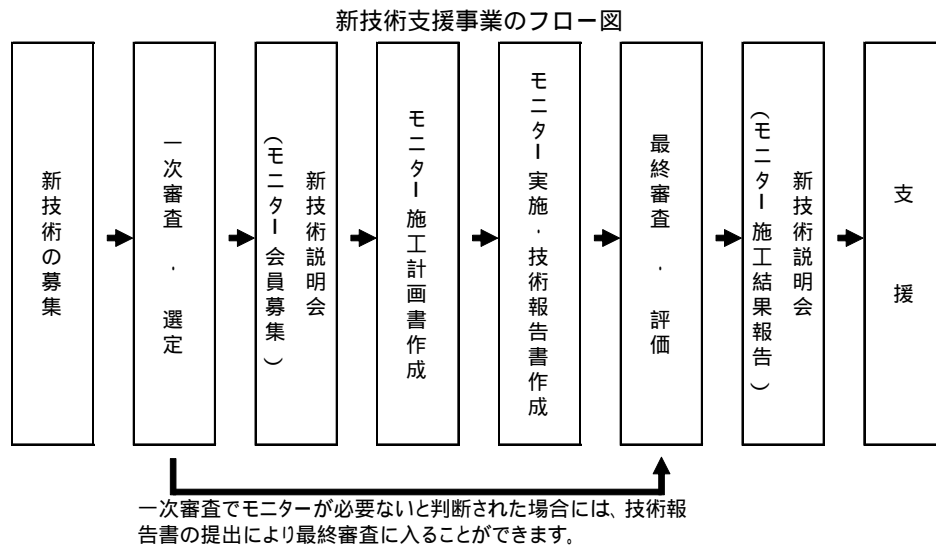
〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-5-11 岩本町T・Iビル4F

TEL：03-3865-3461 FAX：03-3865-3463

ホームページ <http://www.jascoma.com> メール office@jascoma.com

新技術支援事業の平成20年度スケジュール

平成20年度の新技術支援事業は次のスケジュールにて行います。



ここでモニター会員とは、一次審査で選定された提案技術について、提案者と協力して適切な現場でその技術をモニター実施する管路協会員のことです。
モニター会員と提案者は、モニター実施結果を技術報告書にまとめていただきます。

1. 新技術の募集

提案の期待される分野としては、以下の技術が挙げられます。

管路管理ソフト技術

安全管理技術（管きょ内の有毒ガス検知、換気、連絡等）

点検・調査技術（劣化診断技術、空洞探査技術等）

管路管理用ロボット技術

提案者は「提案申込書等記入要領」に従って提案申込書及び提案技術詳細等を作成し、下記住所に申し込みください。申し込みにかかる費用はありません。

申込先： 日本下水道管路管理業協会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-5-11 岩本町 T・I ビル 4F

Tel : 03-3865-3461 Fax : 03-3865-3463 E-Mail: office@jascoma.com

2. 一次審査・選定

提案者は、提出した提案技術詳細等により、『本会技術委員会』にて技術説明（15分）及び質疑応答（10分）を行っていただきます。

説明資料としてパワーポイント等を使用する場合は事前にお知らせください。

一次審査は、次の評価項目により、管路管理業務において、省力化、効率化、安全性の向上等に役立つと期待される技術を選定します。

【評価項目】

新技術であるか（従来技術との比較）

経済性（コストパフォーマンスが高いか）

効果性（管路管理に役立つか）

操作性（操作にあたって熟練を要するか）

汎用性（全国的に誰でも使用できるか）

選定結果は後日書面にて通知します。なお、審査・選定内容に関するお問い合わせについては一切応じることができません。

実施日時：未定

実施場所：日本下水道管路管理業協会会議室

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-5-11 岩本町 T・I ビル 4F

Tel : 03-3865-3461 Fax : 03-3865-3463 E-Mail: office@jascoma.com

3. 新技術説明会（モニター会員募集）

一次審査で選定された技術の提案者は、『新技術説明会』又は『技術発表会』等にて技術説明（15分）及び質疑応答（10分）を本会会員に対し行っていただき、モニターを募集します。

配布資料のほかプレゼン資料（パワーポイント）を事前に作成していただきます。

モニター会員の応募がない場合、当該技術は最終審査にて失格となることがあります。

新技術説明会 【終了】

実施日時：平成20年6月6日（金）

実施場所：虎ノ門パストラル（東京都港区虎ノ門4-1-1）

技術発表会

実施日時：平成20年11月12日（水）

実施場所：大阪コロナホテル（大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-21）

【モニター会員募集について】

- (1) モニターは本会会員から募集します。

新技術説明会にて「モニター申込用紙」を配布します。

モニター申込者は、実施する施設管理者（地方公共団体）の施工承諾を取っていただきます（申し込み後でも可）。このとき、必要に応じて事務局も協力します。

モニターの可否は、事務局で審査のうえ申込者に通知します。

- (2) 1つの提案技術につきモニター実施者は1～2社とします。

モニター実施箇所数等は、提案者及び事務局と協議のうえ決定します。

本会の支援金は、1つの提案技術当たり報告書作成費を含めて上限50万円（税込）とします。よって、モニター実施者が2社ある場合、1社当たり上限25万円（税込）となります。

- (3) モニター実施者は、提案者の指導のもと適切な現場で提案技術を実施し、施工性、安全性、経済性等を報告書にまとめ、本会技術委員及び会員に報告していただきます。

モニター実施者の主な作業内容は次の事項です。

モニター施工計画書作成

モニター実施と技術報告書作成

最終審査での実施結果報告

新技術説明会でのモニター施工結果報告

4. モニター施工計画書作成

モニターと提案者は施工前に施工計画書を作成し、提出していただきます。

モニター実施期間は、事務局及び関係者との協議のうえ決定します。

5. モニター実施・技術報告書作成

モニターと提案者はモニター実施結果を技術報告書にまとめて提出していただきます。提出期限は、原則として当該技術を提案された年度内とします。

モニター実施期間が長期にわたる場合などは、申請により技術報告書の提出期限を次年度まで延長することができますが、進捗状況等を報告していただきます。

6. 最終審査・評価

モニターと提案者は、提出した技術報告書により、『本会技術委員会』にて実施結果の説明(15分)及び質疑応答(10分)を行っていただきます。

説明資料としてパワーポイント等を使用する場合は事前にお知らせください。

最終審査は、技術報告書により、管路管理業務において、省力化、効率化、安全性の向上等に役立つと評価された技術を「新技術支援事業」として認定します。

評価結果は後日書面にて通知します。なお、審査・評価内容に関するお問い合わせについては一切応じることができません。

実施日時：未定

実施場所：日本下水道管路管理業協会会議室

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-5-11 岩本町 T・I ビル 4F

Tel : 03-3865-3461 Fax : 03-3865-3463 E-Mail: office@jascoma.com

7. 新技術説明会(モニター施工結果報告)

モニターと認定された提案者は、提出した技術報告書により、『新技術説明会』又は『技術発表会』等にて実施結果の説明(15分)及び質疑応答(10分)を本会会員に対し行っていただきます。

配布資料のほかプレゼン資料(パワーポイント)を事前に作成していただきます。

当日会場にて認定書を交付します。

新技術説明会 【終了】

実施日時：平成20年6月6日(金)

実施場所：虎ノ門パストラル(東京都港区虎ノ門4-1-1)

技術発表会

実施日時：平成20年11月12日(水)

実施場所：大阪コロナホテル(大阪府大阪市東淀川区西淡路1-3-21)

8. 支援

「新技術支援事業」として認定された提案技術は、下記の支援を受けることができます。

本会の有する媒体や研修を通じての当該技術の普及と体得・支援
公共団体等への新技術PRの支援

9. 申込先・問合せ先

日本下水道管路管理業協会 担当：篠田・米川

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-5-11 岩本町 T・I ビル 4F

Tel : 03-3865-3461 Fax : 03-3865-3463 メールアドレス : office@jascoma.com

10. 参考

認定技術 第1号 管内テレビカメラ調査における新画像処理技術及びこれを応用した調査・分析業務支援システム

第2号 マンホールまわりの不同沈下を抑える技術『ノンブロンガー』

第3号 下水道管路維持管理システム『カンパック』

第4号 渦流式水面制御装置(雨水吐室のきょう雑物対策)

第5号 マンホール内の足掛け金物に取付けて使用する簡易型作業足場(沖藻簡易型足場)

第6号 下水道管路施設内双方向誘導無線システム『モグラホン』

モニター募集中：管路管理業務とリンクした雨水浸入水削減メソッド
：下水道管路点検・補修用仮設工法 水替えシステム

以上

「下水道管路管理に関する新技術」提案申込書

平成 年 月 日

社団法人 日本下水道管路管理業協会会長殿

申込者 会社・団体名 _____

代表者名 _____ 印

下記のとおり提案書を添えて申し込みます。

会社・団体名	ふりがな
会社・団体所在地	〒 Tel : Fax :
代表者名	
担当者名	Tel : Fax : 役職 : 部署 :
共同提案者の有無	なし あり(会社・団体名 :)
提案技術の名称	
提案技術の分野	維持管理計画 点検・調査 診断 清掃 修繕・改築 安全衛生 その他()
提案技術の概要	

該当する にレ印を付けて下さい。

共同提案者がいる場合は用紙をコピーして、提案者毎に記入して下さい。

「下水道管路管理に関する新技術」提案申込書等記入要領

提案申込書及び提案書の記載に当たっては、次のことに留意して下さい。

1. 提案申込書

(1) 代表者名

原則として会社・団体等の代表者としますが、提案技術の担当部署管理者でも構いません。

(2) 担当者名

事務局からの問い合わせや審査結果の通知等のため、提案書の提出及び説明に係る担当者の連絡先等を記入して下さい。

(3) 共同提案者の有無

共同提案者（会社・団体等）がいる場合は、提案者毎に提案申込書を提出して下さい。

(4) 提案技術の名称

提案技術の内容を的確に表現した分かりやすい名称で記入して下さい。

(5) 提案技術の分野

該当する分野の にレ印を付けて下さい。

(6) 提案技術の概要

提案技術の概要として、できるだけ分かりやすく明確に記述して下さい。

2. 提案書

用紙サイズはA4とし、3～5頁程度で下記の事項をまとめて下さい。

書式、文字数は自由とします。

補足説明として参考資料を添付しても構いません。

提出部数はお問い合わせください。

(1) 提案技術の詳細

要点、ポイントを明確にし、簡潔に記述して下さい。

具体的に分かりやすくするため、イメージ図や表などを活用して下さい。

(2) 従来技術及び類似技術との差異

技術面、コスト面、効率・効果などについて記述して下さい。

(3) 実用化の程度

利用・施工の実績があれば添付して下さい。

3. 申込先・問合せ先

(社) 日本下水道管路管理業協会 担当：篠田・米川

〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-5-11 岩本町T・Iビル4F

TEL：03-3865-3461 FAX：03-3865-3463 メール：office@jascoma.com

以上